

# 合同

No. 479

## 「投資の勧め」

日本キリスト合同教会教師  
岸本茂雄



「あなたのパンを水に浮かべて流すがよい。月日がたってから、それを見いだすだろう」(コヘレトの言葉 11章1節)。

一見無駄に思えることが将来何かの役に立つことがあります。将来への布石として犠牲を払うことでもあります。長いときを経て、その犠牲以上の恵みが自分に帰ってくるのです。わたしたちの人生は先行き不透明ですが、将来の発展を期待し、リスクは覚悟の上で何かに挑むこともあります。

「あなたのパンを水に浮かべて流すがよい」。これは商取引や貿易のことと考えられます。例えば、神から知恵を授かったソロモン王は、当時はリスクの高かった海上貿易を手掛け、周辺国との取引を拡大して国を繁栄させました。

また、このことばを起業や事業発展のための投資の勧めと捉えることができます。長期的ビジョンの布石として資本や資源を投入し、人材を育成し、将来の大きな成果を期待するのです。続く2節の「七人と、八人とすら、分かち合っておけ」というのは、リスク分散のための資産のポートフォリオと理解できます。さらに、仕事の関係者でも私的な友人でも、様々な分野で色々なタイプの人との関係を大切にしていれば(これも投資の一つと言えますが)、必要なときに適切な助けを得ることができるでしょう。

「あなたのパン」を祈りや献金と捉えても良いでしょう。主に献げる祈りや献金は必ず主に喜ばれます。主に感謝して賛美の祈りを献げ、友のためにとりなしの祈りをしたことが、あるいは、献金をしたことが、巡り巡って、自分が苦境に陥ったときに思わぬ助けとなったという証を聞くことが多いのです。因

果関係では説明できないが、主の守りを実感するという話をよく聞くのです。

「あなたのパン」をみことばと考えることもできます。教会の外で未信者の方に聖書の話をし、福音を伝えようとしても、暖簾に腕押し、糠に釘というのが現実です。でも思い返せば、わたしも昔は暖簾であり、糠だった。中高生の頃、聖書の話聞き、みことばもいくつか覚えてたけれど、洗礼を受けたのは20年も後だったのです。主はあなたが蒔いたみことばの種を実らせてくださいます。

「あなたのパン」は貧しい人への施しや苦悩する人への支援でもあります。見返りを望まず、一見損失のようですが、「わたしの兄弟であるこの最も小さい者の一人にしたのは、わたしにしてくれたことなのである」(マタイによる福音書 25章40節)と主は言われます。「弱者を憐れむ人は主に貸す人。その行いは必ず報いられる」(箴言 19章17節)のです。

今挙げた祈りや献金やみことばの伝道、施しや支援などは、主への従順と隣人愛の実践であり、見返りを求めない投資、あるいは布石として、天に宝を積むことになるのです。

神は人間を罪と死から救うため、み子の十字架という大きな犠牲を払って人間の罪を贖い、み子の復活によって死を滅ぼされました。これは、神が人間をサタンの支配から取り戻し、神との平和を回復し、永遠に生きる者とするための投資だったのです。わたしたちは神の投資の果実として、神に立ち返ることが求められています。わたしたちは神の投資による救いの道、「わたしは道であり、真理であり、命である。わたしを通らなければ、だれも父のもとに行くことができない」(ヨハネによる福音書 14章6節)という道を歩むのです。

「あなたのパンを水に浮かべて流す」ことは、主のみ心に従い、隣人愛に基づいて、また自身の成長のために、主から与えられた財や賜物を用いて投資することです。そして、聖霊の働きに委ねて祈るのです。「惜しまず豊かに蒔く人は、刈り入れも豊かなのです」(コリントの信徒への手紙 2章9章6節)。そのリスクは主が取り扱い、豊かな祝福を与えてくださいます。なぜなら、神が大きな愛をもって、わたしたちの救いのために大きな犠牲を伴う投資をしてくださったからです。